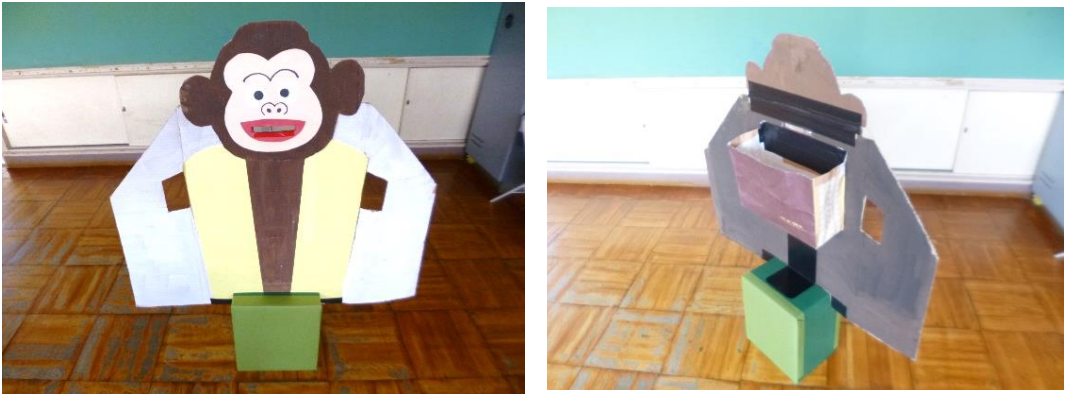



小学部	
題材・教材名【 はらぺこゴリラ 】領域・教科【 算数 】	
ね ら い	<p>① 指定された数のりんごカードを選び取ることができる。</p> <p>② カードを入れる動作を通して、手指の巧緻性を高めることができる。</p> <p>③ ゴリラくんとコミュニケーションを楽しみながら活動することができる。</p>
写真	
教材 使用 方法	<p>〈 学習例 〉 題材名：かぞえてみよう</p> <p>① ゴリラくんに教師が手を入れて登場し、握手やハイタッチをして挨拶をする。 （児童とのコミュニケーションが終わったら、ゴリラくんは専用の土台に立たせておく）</p> <p>② ゴリラくんがほしいと言った数の数字カードを黒板に貼る。</p> <p>③ ゴリラくんがほしいと言った数だけりんごカードをとり、口の中に入れる。</p> <p>④ 口に入れたりんごカードを取り出して黒板に貼り、数が合っているかを確認する。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果物カードを2種類用意することで、足し算の勉強にも発展できる。</li> <li>・ 児童の実態に合わせて、ゴリラくんの口の大きさを変えたり、りんごカードではなくボールのようなものにしたりすることもできる。</li> </ul>
児童 ・ 生徒 の 様子 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めはカードを入れたい気持ちが勝ってしまい、全部のカードを入れてしまう児童もいた。しかし、口に入れたカードが多すぎてゴリラくんが苦しそうな動きや声を出すと、2回目からは慎重になり、正しい数を取って入れることができた。</li> <li>・ 正しい数だけ選び取ることが難しい児童は、トレーの上に乗せて数えるなど、教師と一緒に確認しながら行った。</li> <li>・ 今回は口を狭めに作ったため、手元をよく見て集中してカードを入れていた。</li> <li>・ 回数を重ねるごとにゴリラくんに親しみをもち、「ゴリラくーん！」と呼んで登場を楽しみにする姿が見られた。</li> </ul>